TANITA

健康をはかる

タニタ　上腕式デジタル自動血圧計

取扱説明書

BP-200

お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになられたあとも、いつでも見られるように保管してください。

もくじ

安全上のご注意 ········2
ACアダプタについての注意··4
血圧とは？············5
カフを本体に接続する····8
カフの巻き方 ··········9
正しい測定の姿勢 ······11
各部の名前･付属品の確認··12
電池を入れる･交換する··13
ACアダプタを使う····14
カフの加圧値を設定····15
日付･時計の設定 ······16
測定する ············18
結果をみる···········19
記録された結果･平均をみる ················20
測定結果を消す ·······21
Q&A ················22
こんなときには·······24
主な仕様 ············26
アフターサービスについて··27
保証書 ···········裏表紙

安全上のご注意

この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防止するためにいろいろな絵表示で説明しています。

⚠警告	⚠注意
この表示の欄は、「死亡または重傷を負う恐れのある」内容です。	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れのある」内容です。
禁止 「してはいけない」禁止内容です。	必ず守る 「必ず守っていただく」内容です。

⚠ 警　告

禁止	**測定結果の自己判断、治療はしない** 治療が必要な場合は医師の診断のもとで行ってください。薬剤の服用は医師の指示に従ってください。
禁止	**腕部に重度の血行障害のある場合は、医師の指示なしで使用しない** 循環障害に伴う体調不良をおこす恐れがあります。
禁止	**抗凝固剤、抗血小板剤、ステロイド等を使用している場合や、透析治療中の場合は、医師の指示なしで使用しない** 内出血を起こす可能性があります。
禁止	**本体やカフを絶対に分解、改造、修理しない** 発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。
必ず守る	**自分で意思表示ができない人、自分で操作ができない人へは使用させない** けがや事故が起きる可能性がありますので、使用する場合は医師に相談の上慎重に使用してください。
必ず守る	**乳幼児の手の届くところに置かない 子供だけで使わせない** けがや事故が起きる可能性があります。
必ず守る	**血圧測定及び脈波測定以外の目的には使用しない** 故障や事故の原因になります。

⚠ 注　意

■取扱いについて

禁止	**強い静電気や電磁波に近づけない** 誤動作、故障の原因になります。
禁止	**カフを洗濯したり、中性洗剤につけない** 故障の原因になります。
禁止	**本器の近くで携帯電話を使用しない** 誤動作、故障の原因になります。
禁止	**本器を落としたり、強いショックを与えない** 故障の原因になります。
禁止	**カフを無理に伸ばしたり、曲げたりしない。また、ナイフや先のとがった物で切ったり突いたりしない。** 故障の原因になります。
必ず守る	**外圧に対して毛細血管の脆弱性が亢進している方は内出血、充血が見られることがあります。** ご使用の際は注意してください。
必ず守る	**動かない場合や異常を感じたときは、すぐに使用を中止する** 点検修理を依頼してください。守らないと感電、発火の恐れがあります。
必ず守る	**本器に異物や液体が入らないようにする** 入りこんだ場合は、そのままの状態で使用しないでください。故障の原因になります。

⚠ 注 意（つづき）

■測定の前に…

禁止	**ご使用の前に血圧計の外観等に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しない。** けがをする恐れや測定値に誤差が生じる可能性があります。
必ず守る	**測定する腕が汗などの水で濡れている場合は、必ずよく拭き取り、乾いてから使用する** 濡れたままだと内部に水が浸入し故障の原因になります。
必ず守る	**寒い部屋で長時間保管していたときは、暖かいところに1時間以上放置してから使用する** 測定値に誤差が生じる可能性があります。

■測定中は…

禁止	**加圧値を必要以上に高くしない** 腕に一過性の内出血が発生することがあります。
禁止	**カフは上腕以外に巻かない** けがや事故がおきる可能性があります。
必ず守る	**連続で使用し、うっ血した場合は、うっ血を取り除いてから測定する** うっ血したままだと測定値が変化することがあります。 うっ血を取り除くにはカフを外して手のひらを閉じたり、開いたりする運動を少しの間繰り返してください。

■測定後は…

必ず守る	**カフプラグやACアダプタのプラグを抜くときはコードを持たず、カフプラグ本体やACアダプタ本体を持って引き抜く** コードを引っ張ると故障の原因になります。
必ず守る	**活性ガス（消毒用ガスも含む）環境や、ほこりっぽい所、高温多湿環境下での測定、放置はしない。** 内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となります。

お願い

■保管、お手入れについて

禁止	**シンナーやベンジンなどは使用しない** 本体の汚れは柔らかい布で拭いてください。
必ず守る	**清掃するときは必ず電源を切り、ACアダプタを抜いてから行う その際、濡れた手で抜き差ししない** 感電やけがの原因になります。
必ず守る	**長期間使用しない場合は乾電池を取りはずす** 乾電池の液漏れにより、本体を痛める恐れがあります。 **※乾電池を取りはずした場合、記録されている測定値は全て消去されます。**

ACアダプタについての注意

⚠ 注 意

■取扱いについて

禁止	**タニタデジタル血圧計BP200専用のACアダプタ以外は使用しない** 火災、感電の原因になります。	禁止	**他の電気製品等にはこのACアダプタを使用しない** 火災、感電の原因になります。
禁止	**ACアダプタのコードやコネクタが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しない** 感電やショート、発火の原因になります。	禁止	**ACアダプタに水をかけたり、水没させたり、水洗いはしない** 感電、ショートの恐れがあります。
禁止	**ACアダプタのコードに直接釘等をさして固定しない** コードの破損により火災、感電の原因となります。	禁止	**ACアダプタのコードの上に重い物を置かない** コードの破損により火災、感電の原因になります。
禁止	**AC100V以外の電源では使用しない**		
禁止	**ACアダプタのプラグにゴミやほこり等を付着させない** 感電及び故障の原因になります。	必ず守る	**長期間使用しない場合はACアダプタをコンセントから抜く** 絶縁劣化により感電や漏電火災の原因になります
必ず守る	**ACアダプタをコンセントから抜くときは必ずACアダプタを持って抜く。 コネクタを本体から抜くときはコネクタを持つ** コードを無理に引っ張ると、コードの破損により感電、故障の原因になります。	必ず守る	**動かない場合や異常を感じたときは使用を中止しすぐにACアダプタを抜いて点検修理を依頼する** 事故や感電、発火の恐れがあります。

血圧とは？

血圧とは、動脈の内側(動脈壁)にかかる圧力のこと

酸素や栄養など、わたしたちは生きていくのに必要な物質を血液から受け取っています。血液は心臓というポンプの拍動(収縮したり拡張したりすること)によって、動脈へ送り出されます。血液が送り出された(心臓が収縮)瞬間に動脈の壁は押し広げられ、また、心臓が次の血液をためている(心臓が拡張)間には動脈の壁はもとに戻るという動きを繰り返しています。

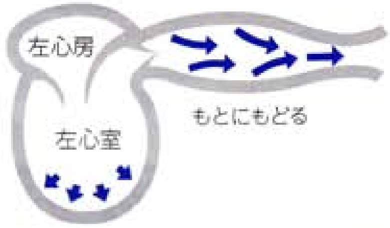
このような血液で動脈が内側から押される圧力を「血圧」といいます。

最高血圧、最低血圧とは？

最高血圧

心臓が収縮し、血液が送り出され動脈が最も押し広げられたときの圧力です。

最低血圧



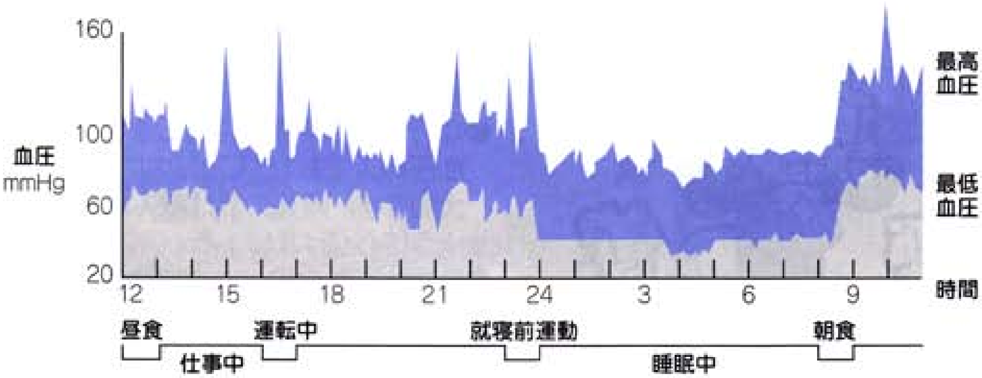
全身を巡った血液が心臓に戻り、心臓が拡張し、動脈がもとに戻ったときの圧力です。

血圧は常に変動しています

血圧は1心拍ごとに変化しています。それに加え、測定する環境や自分の状態(ストレス、病気、運動、姿勢、睡眠)などによっても変化します。

血圧値の日内変動例

(上腕血圧データ)

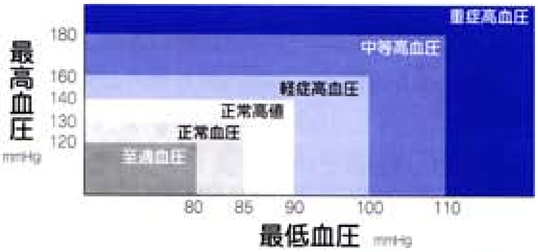


血圧とは（つづき）

知っておきたい血圧分類

世界保健機関(WHO)と国際高血圧学会(ISH)では、病院での血圧測定をもとにして右の図のように血圧を分類しています。

また、家庭における高血圧の目安は以下のようになります。血圧の状態を知る目安としてください。ただし、分類をもとに自己診断を下すことは危険です。気になる点があれば必ず医師の指導を受けましょう。



WHOの血圧分類（1999年改訂）

最高血圧135mmHg以上　高血圧　最低血圧85mmHg以上

出典：日本高血圧学会　家庭血圧測定条件設定の指針
（2003年9月）

血圧上昇の予防と改善

血圧上昇の要因は生活習慣です。

肥満や塩分の取りすぎ、食べ過ぎ、ストレスや煙草など、血圧を上げる要因になります。日ごろの生活習慣に目を向け、改善していくことが健康へとつながります。

■肥満

肥満になると、酸素消費量の増加に伴い、心拍出量、循環血液量の増加で血圧が上昇します。食事に気をつけ適度に運動を習慣づけることが有効です。

■ストレス

ストレスで睡眠不足になったり、食生活が乱れたりした結果、血圧上昇につながります。スポーツや趣味などで上手にストレス解消を心がけることが大切です。

■煙草

血管の収縮によって血圧があがります。

■食事

- 塩分の取りすぎに注意しましょう。正常血圧の人でも1日10g以内に抑えることが大切です。麺類の汁は飲み干さず、残すように心がけましょう。
- 動物性脂肪の取りすぎに注意し、栄養はバランス良く取りましょう。
- 適度な飲酒は血管を拡張する効果がありますが、飲み過ぎは避けましょう。

正しい測定のポイント

血圧は1心拍ごとに変化しています。さらに測定する環境や自分の状態によっても変化します。ご家庭で測定する際には毎日なるべく同じ条件下で測定することが大切です。

出典：日本高血圧学会　家庭血圧測定条件設定の指針（2003年9月）

いつも同じ時間に

- 起床1時間以内に
- 就寝前に

起床後は

- 排尿を済ませてから
- 薬の服用前
- 食事の前に

安静な状態で

深呼吸して、気持ちをリラックスさせましょう。

避けた方がよいとき

- 食後1時間以内
- 喫煙後
- 飲酒直後
- 家事や運動直後
- コーヒー・紅茶を飲んだ後
- 腹圧のかかる姿勢

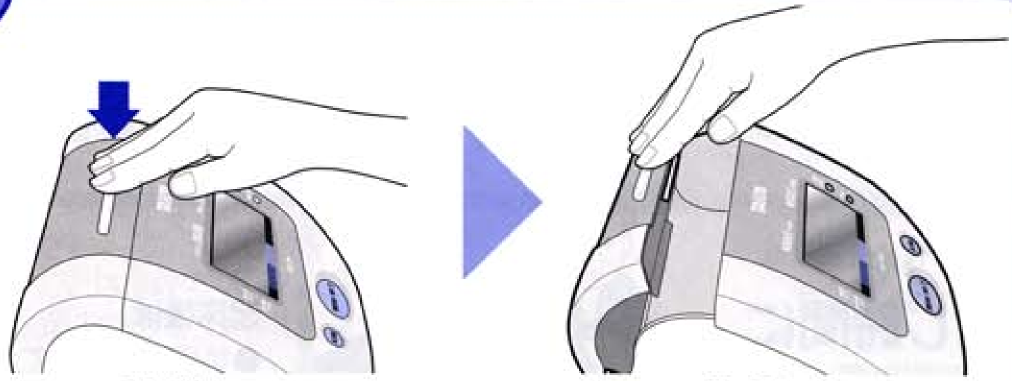
静かな場所で

騒音や振動のない、また落ち着ける場所で

騒音や振動がある場所、寒い部屋では緊張感から、血圧が上昇します。室温は20℃前後に保ってはかりましょう

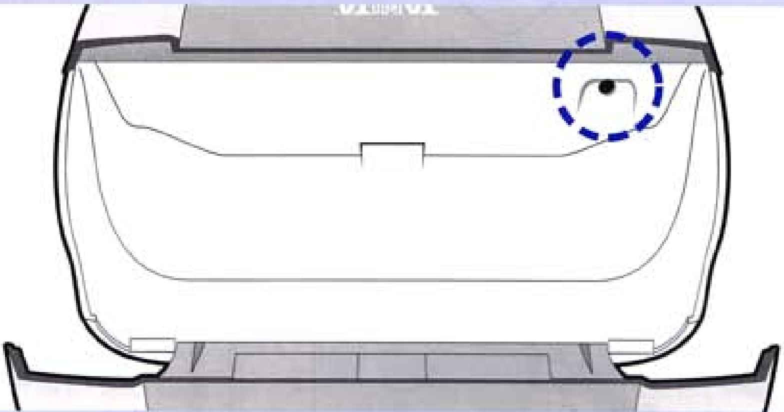
カフを本体に接続する

1 本体のカフ収納ケースを開ける

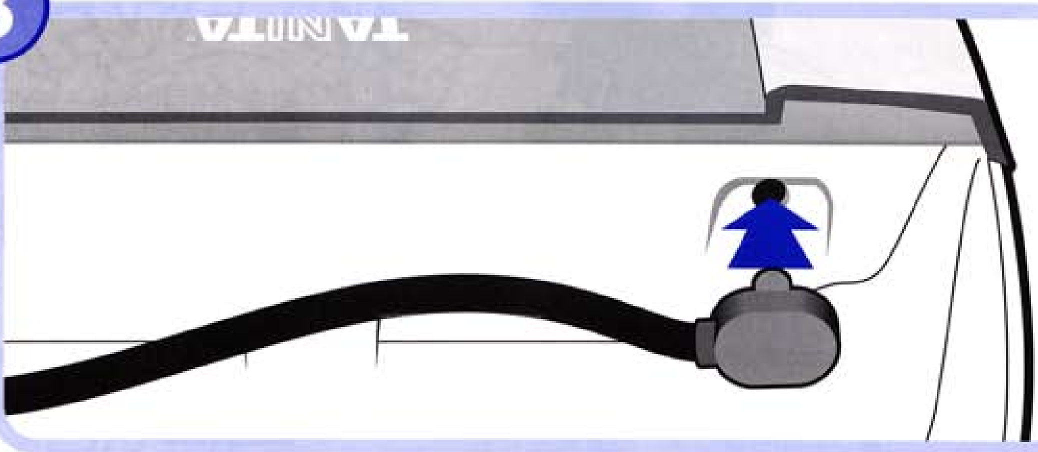


軽く押す　　　押し開ける

2 カフ収納ケース内部の奥に、カフのプラグを差し込むカフプラグコネクタがあるのを確認する



3 カフのプラグをカフプラグコネクタにしっかりと差し込む

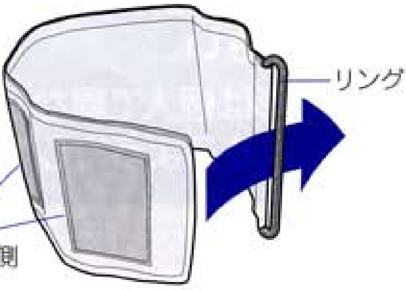


カフの巻き方

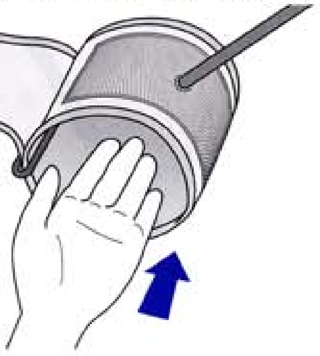
正しい測定にはカフを正しく巻くことが大切です。

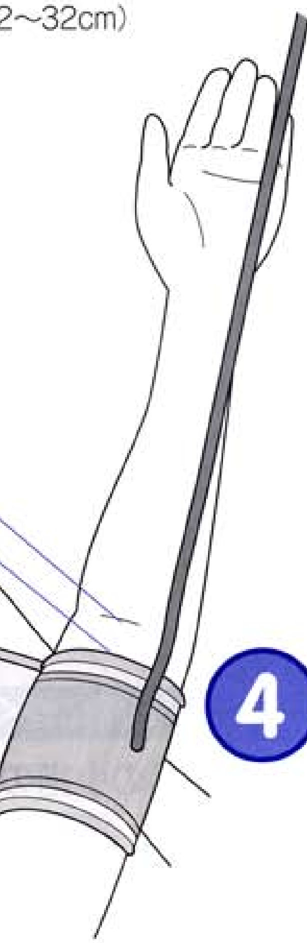
1 面ファスナーが外側にくるように、
カフの端をリングに通し、
輪っかを作ります。

※初めてお使い頂く時は、
カフはリングに通った状態です。



2 カフの向きを確認し、
左の手のひらを上に向けて
腕を通します。（測定可能な腕周：22～32cm）





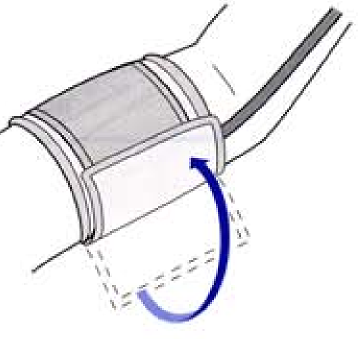
3 ひじの内側のくぼみから
約1～2cmのところに
カフを持っていき

4 カフのチューブが
小指の延長線上
にくるようにあわせる。

5 **カフの端を**
外側へ引っ張り、

6 **カフの端を腕の下側から体側へ折り返して、面ファスナーで固定する**

※カフと腕の間に指が1本入る程度に巻いて
ください。



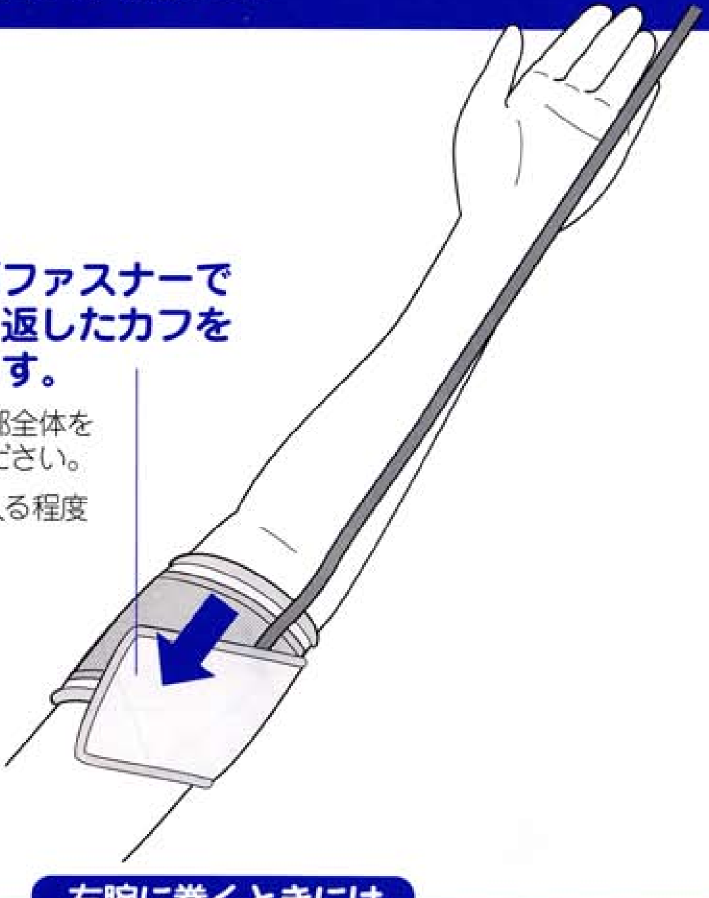
カフが上腕部全体を圧迫していない場合、巻き方を下記のようにしてください。

上腕の形は個人で異なります。巻き方を調整して、カフが上腕全体を圧迫するようにしてください。

カフを折り返して面ファスナーで固定する時に、折り返したカフを肩の方へ斜めにずらす。

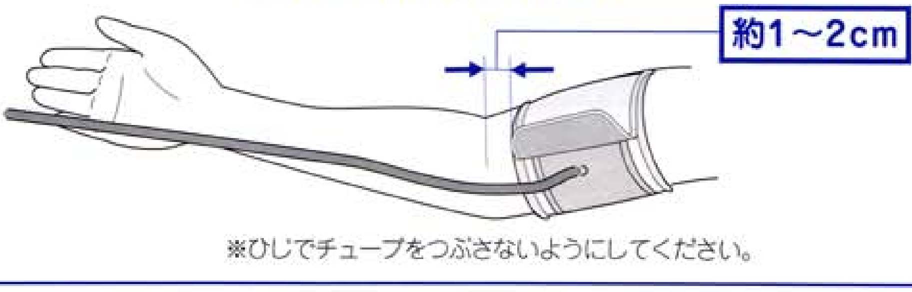
※加圧した際にカフが上腕部全体を圧迫しているかご確認ください。

※カフと腕の間に指が1本入る程度に巻いてください。



右腕に巻くときには

カフのチューブが**右手の小指の延長線上**にくるように巻く



※ひじでチューブをつぶさないようにしてください。

正しい測定の姿勢

① 平らなテーブルや机に血圧計をおきます

② 背筋を軽くのばして座ります

なるべく動かず、
姿勢を保つ。

③ 手のひらを上に向けて素肌または薄手の肌着の上にカフを巻く

セーターなど厚手の服は
脱いでから測定してください。

お知らせ

カフの中心は心臓と同じ高さになるように

お知らせ

テーブルとイスの高さの差は25～30cmが理想です

ご家庭のテーブルとイスの高さの差は一般的に20～35cmです。
（座卓の場合は、座面との高さの差）

測定中は…

- しゃべらないでください。
- なるべく動かないでください。
- 腕の力を抜き、リラックス状態で測定してください。

悪い姿勢

- **前かがみまたは猫背**
- **あぐらをかいた姿勢**
- **低いテーブルやソファで前のめりになる**

前かがみでは腹圧がかかったり、テーブルが低かったりするとカフの位置が心臓よりも低くなるため、血圧値が高くなることがあります。

※カフが心臓の位置より低くなるときは、クッションなどを肘の下に置いて高さを調節してください。

各部の名前・付属品の確認

本体

裏面

カフ

背面

専用ACアダプタ

付属品の確認を CHECK!

- ☑取扱説明書（本書）
- □添付文書
- □カフ／1ヶ
- □収納用ソフトケース
- □正しい測定の手順
- □専用ACアダプタ／1ヶ
- □単3アルカリ乾電池／4本

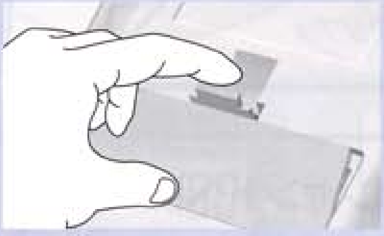
電池を入れる・交換する

測定の際など、表示画面に▭（電池マーク）が点滅して表示された場合、電池が消耗しています。速やかに4本の電池（単3アルカリ乾電池）をすべて交換してください。

お知らせ

電池を取りはずした場合、記録されている測定値は全て消去されます。消去された値は元には戻りません。

▶ 記録されている測定値を残しておきたい場合は、電池を取りはずす前に、あらかじめACアダプターを本体につなぎ、電源が途切れない様にすることをおすすめします。ACアダプタの接続手順▶ P14参照



1 本体裏側の電池フタをはずす

2 電池を入れる　⊕⊖表示に合わせて入れる

⚠ 注　意

禁止　**指定の電池（単3アルカリ乾電池）以外は使用しない**
▶ 故障の原因になります。

必ず守る　**電池は⊕⊖の方向を正しく入れる。**
▶ まちがえると故障の原因になります。

3 電池カバーを取りつける

※一時的にACアダプタを使用していた場合は、先に本体からACアダプタのジャックを抜いてください。

▶ 先にACアダプタをコンセントから抜いた場合、記録されている測定値は全て消去されます。

お知らせ

- **付属の電池は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短い場合があります。**
- **電池は有害物質を含んでいます。古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。**

ACアダプタを使う

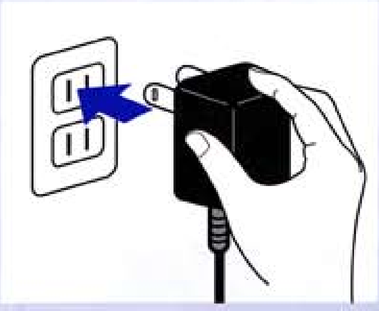
この様な場合に便利です。

⇨ご家族などで決められた場所に本器を設置する場合

ただし、本器を移動するときなど、ACアダプタを本体コネクタから外した場合や、コンセントから抜いた場合、記録されている測定値が全て消去されます。消去された値は元には戻りません。

▶ 記録された値を残しておきたい場合は、一時的に乾電池を入れてから、ACアダプタのジャックを本体コネクタから抜き、その後、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

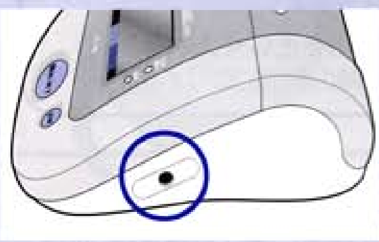
※先にACアダプタから抜いた場合、記録された値が消去されます。



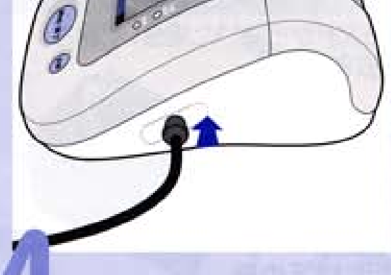
1 ACアダプタをコンセントへしっかりと差し込む

⚠ 注 意

禁止 ＡＣアダプタのコードやコネクタが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しない



2 本体側面のACアダプタ用コネクタを確認する



3 ACアダプタのジャックをしっかりと差し込む

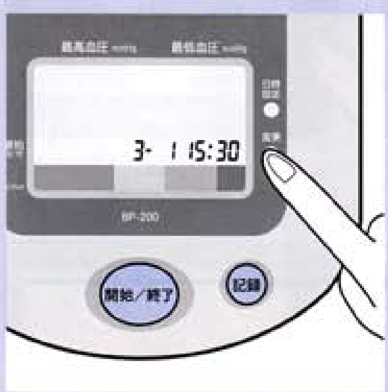
⚠ 注 意

必ず守る **乾電池を長期間使用しない場合は、乾電池を取り外す**

▶ 乾電池の液漏れが起こり、本体を痛める恐れがあります。

カフの加圧値を設定

正確な測定を行うためには、カフで動脈をしっかりと圧迫する必要があります。カフの加圧値はお買い上げ時には、180mmHgに設定されています。加圧値を変更する場合は、ご自分の最高血圧に「50」を足した数を目安とし、近い値を加圧値として設定してください。

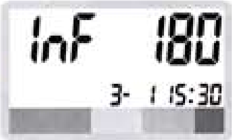


1

変更○ボタンを1回押す

表示画面が切りかわり、現在設定されている加圧値が表示されます。

表示画面▶



2

変更○ボタンを押して、加圧値を選ぶ

変更○ボタンを押すごとに、表示が切り替わります。

3

選んだ加圧値の表示がでたら、そのまま約5秒待つか、開始／終了ボタンを押す

以上で加圧値の設定は終了です。

日付・時計の設定

本器では測定結果と日付・時間を一緒に記録します。かならず日付と時計を設定してください。

例：3月1日　20:10に設定する場合

1

日時設定 ○ **ボタンを押す**

「月」が点滅表示します。

2

変更 ○ **ボタンを押し、**

（押し続けると早送りされます）

「月」を合わせ、

3

日時設定 ○ **ボタンを押し、「月」を決定する**

つづいて「日」が点滅します。

4

変更 ○ **ボタンを押し、**

（押し続けると早送りされます）

「日」を合わせ、

5

日時設定 ○ **ボタンを押し、「日」を決定する**

つづいて「時」が点滅します。

次ページへつづく

6

変更○ボタンを押し、
（押し続けると早送りされます）
「時」を合わせ、

7

日時設定○ボタンを押し、「時」を決定する

つづいて「分」が点滅します。

8

変更○ボタンを押し、
（押し続けると早送りされます）
「分」を合わせ、

9

日時設定○ボタンを押し、「分」を決定する

以上で日付・時計の設定は終了です。

測定する

本書P.9~P.11を参照し、カフを正しく巻き、正しい姿勢で測定してください。

1

血圧計本体のカフ収納部にあるカフプラグコネクタへカフのプラグをしっかりと差し込み、カフを正しく上腕に巻く

カフの巻き方は▶ P.9・P.10参照

2

(開始/終了)ボタンを押す(全表示します)

※この時の(電池マーク)は電池交換のお知らせではありません。

測定中は正しい姿勢を保ち、リラックスしてください。

正しい姿勢は▶ P.11参照

自動的に加圧がはじまる。

- 測定を中止したいとき ▶ (開始/終了)ボタンを押す。
- 加圧が不足しているとき ▶ 自動的に再加圧します。

3

心拍を検知すると「♥」マークが点滅し、カフが減圧を開始。

正しい姿勢を保ったままでいてください。

4

結果を表示

自動的に測定結果を記録します。

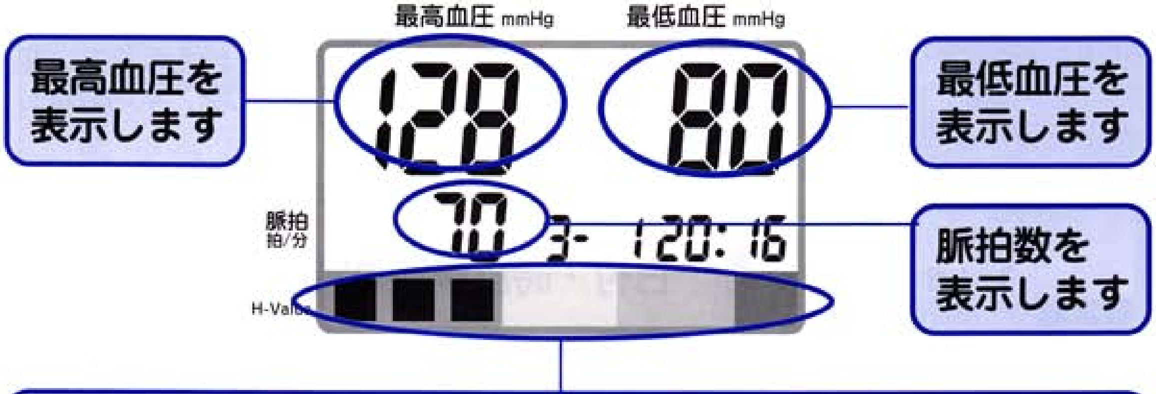
- 血圧は長期的な傾向を見ることが大切です。記録表に記録することをおすすめします。
  (記録表▶ 付属の血圧記録表をコピーしてお使いください。)

※測定終了後は(開始/終了)ボタンを押すか、そのまま3分待つ。
自動的に日付・時計表示になります。

5

測定終了後はカフを本体へ収納する

結果をみる



循環器系に関する情報(H-Value)を、青、黄、橙、赤の4種類の色で4段階に表示します。

※H-Valueレベル表示は、測定終了後も記録されている値の平均値が表示されます。

● バーが青色の場合

H-Valueが標準的な場合などに表示されます。

● バーが黄色の場合

H-Valueが標準の上限から中程度に上昇している場合などに表示されます。

▶確認のために再度測定を行うことをおすすめします。
連続して測定するとうっ血して値が変化することがあります。うっ血を取り除いてから測定することをお勧めします。

● バーが橙色／赤色の場合

H-Valueが中程度から高度に上昇している場合などに表示されます。

▶確認のために再度測定を行うことをおすすめします。
連続して測定するとうっ血して値が変化することがあります。うっ血を取り除いてから測定することをお勧めします。

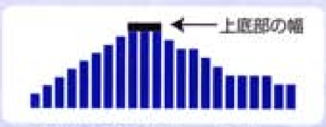
H-Value(エイチ・バリュー)とは

血圧測定過程で得られた全ての※脈波データから抽出した脈波データを順番に並べると、山形のパターンとなります。

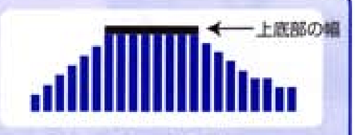
※脈波とは、最低血圧と最高血圧の差を脈圧といい、脈圧を波形としてとらえたものです。

標準的な脈波データのパターンは三角形(△型)に現れますが、台形型(⏢ 型)に現れる場合もあります。

この脈波パターンの上底部の幅が、「H-Value」と呼ばれ循環器系に関する情報となります。



標準的な三角形パターン(△型)



台形型のパターン(⏢型)

⚠ 警 告

禁止

測定結果の自己診断・治療はしない。
治療が必要な場合は医師の診断のもとで行ってください。
薬剤の服用は医師の指示に従ってください。

記録された測定結果、測定結果の平均をみる

本器では測定した結果を30回まで自動的に記録します。また、記録されている値の平均を自動的に計算し、表示します。記録された測定結果が30回を超えると古い測定結果から自動的に消去され、新しい測定結果が記録されます。その際、平均の値も自動的に更新されます。

1 日付・時計表示の時に（記録）ボタンを1回押す

●押しても何も表示しないとき
　→記録されている測定値はありません。

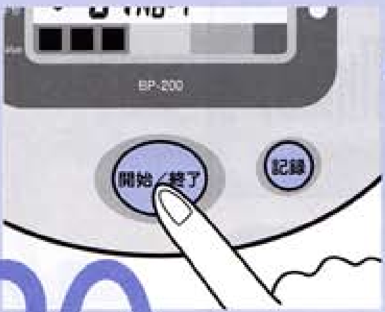
2 記録されている測定結果の平均が表示される

平均表示を示す No- A と日時が交互に2回表示します。
その後自動的に消えます。

3 引き続き（記録）ボタンを押す

（記録）ボタンを押すごとに古い結果が表示される。

何回前かを示す No- 1（この場合は1回前）と日時が交互に表示します。



4 終了する

（開始／終了）ボタンを押すか、そのまま約3分待ちます。
そのまま待つ場合は、記録されている番号と日時が交互に2回表示し、最後に記録番号が表示して、自動的に消えます。

以上で測定結果の確認は終了です。

測定結果を消す

記録されている測定結果を、選択して消去することができます。

1 日付・時計表示の時に（記録）ボタンを1回押す

2 記録されている測定結果の平均が表示される

3 （記録）ボタンを押して消去したい測定結果を画面に表示させる

（記録）ボタンを押すごとに、過去の測定結果を表示します。

※平均値は消去できません。

4 変更○ボタンを約3秒間押す

5 画面に「clr」が表示し、選んだ測定結果が消去される

お知らせ

- 一度消去した値は元に戻りません。
- 平均値は自動的に更新されます。

以上で測定結果の消去は終了です。

Q 病院で測った値と比べて低いのですが…

A 病院で測ったとき、緊張していませんでしたか？
自宅では気持ちが落ち着いているため、病院等で測るよりも20〜30mmHg低くなることがあります。
血圧は１心拍ごとに変化しており、測定環境や自分の状態によっても値が変わってきます。
自宅でのリラックスした際の測定値を知っておくことが大切です。

Q 病院で測った値と比べて高いのですが…

A カフを正しく巻いていましたか？
●カフの位置は心臓と同じ位の高さになっていましたか？
●上着や厚手の服の上から巻いていませんか？
●腕まくりをした袖が、腕を圧迫していませんか？
●カフをぴったりと巻いていましたか？

▶ カフの位置がずれていると動脈からの信号を捕らえにくくなったり、巻き方がゆるい場合、カフの圧迫している力が動脈まで伝わらず、血圧が高めに測定されてしまいます。カフの巻き方、正しい測定の姿勢（本書P.9〜P.11参照）を確認し、もう一度測定することをお勧めします。

A 猫背やあぐらをかいていたり、前のめりになっていたりしていませんか？
腹部が圧迫されたり（腹圧がかかる）、カフの位置が心臓よりも低くなると血圧が高めになることがあります。

Q 測るたびに測定値が違うのですが…

A 毎日同じ時間帯、なるべく同じ条件で測定していますか？
また血圧は１心拍ごとに変化しています。
それに加え、測定する環境や自分の状態（ストレス・病気・運動・姿勢・睡眠）などによっても変化します。
自分の測定値を知るためには、毎日同じ時間帯、同じ条件下で測定することが大切です。（本書 P.7 正しい測定のポイント 参照）

A カフを正しく腕に巻いていますか？
正しい測定には、カフを正しく上腕に巻くことが大切です。
（本書 P.9・P.10 カフの巻き方 参照）

A いつも同じ腕で測っていますか？
血圧は左腕と右腕で測定値に差が出ることがあるため、いつも同じ腕で測定することが大切です。

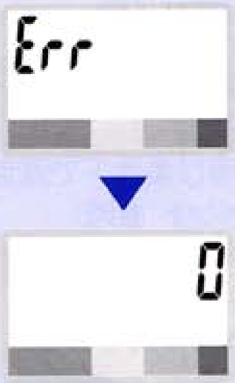
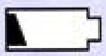
A 連続して測定していませんか？
連続して測定すると、うっ血して値が変化することがあります。
続けて測定するときは、うっ血を取り除いてから測定することをお勧めします。

Q 自宅での血圧管理のコツは？

A 血圧値だけではなく、生活習慣やその日の体の状態等も記録することが大切です。
血圧は生活習慣と大きく関わりがあります。
血圧を毎日測定・記録するのと同時に、生活習慣や体の状態を記録することで、自身の生活習慣がわかり改善へとつながります。
また、医師の診断を受けるときにも役立ちます。

こんなときには

画面表示に「Err」表示や硬さ度を示すバーの表示がおかしい場合

エラー表示	原因	対処法
	測定中に腕や体を動かしたり、話をしていませんでしたか？	腕や体を動かさず、再度測定を行ってください。 ▶ 本書P.11・P.18参照
	加圧が不足していませんか？	設定されている加圧値が最高血圧値とあっていない可能性があります。加圧値を設定し、再度測定を行ってください。 ▶ 本書P.15参照
	カフが正しく腕に巻かれていますか？	カフをもう一度巻きなおし、再度測定を行ってください。 ▶ 本書P.9・P.10・P.18参照
	カフのプラグが本体のカフプラグコネクタにしっかりと差し込まれていますか？	カフのプラグが本体のカフプラグコネクタにしっかりと差し込まれているか確認し、再度測定を行ってください。 ▶ 本書P.8・P.18参照
	カフのホースの上に物が置かれていませんでしたか？	カフのホースに乗っているものを取り除いてください。
	カフのホースが折れ曲がっていませんでしたか？	カフのホースをまっすぐにしてください。
 ※不整脈や脈が弱い方に表示される場合があります。	測定中に腕や体を動かしたり、話をしていませんでしたか？	腕や体を動かさず、再度測定を行ってください。 ▶ 本書P.18参照
	カフが正しく腕に巻かれていますか？	カフをもう一度巻きなおし、再度測定を行ってください。 ▶ 本書P.9・P.10・P.18参照
 電池マークが継続して表示する	乾電池が消耗しています。	速やかに新しい乾電池と交換してください。 ▶ 本書P.13参照

こんなときには（つづき）

こんなときは

症状	原因	対処法
開始／終了ボタンを押しても何も表示しない	電池を入れる向き（⊕・⊖）はあっていますか？	乾電池を入れる向きを確認し、正しく入れなおしてください。 ▶本書P.13参照
	乾電池が消耗していませんか？	速やかに新しい乾電池と交換してください。 ▶本書P.13参照
開始途中に表示が消える	乾電池が消耗していませんか？	速やかに新しい乾電池と交換してください。 ▶本書P.13参照
最高血圧値がいつもより高い	測定中安静にしていましたか？	測定中は動いたり話したりせず、安静にしてください。 ▶本書P.11参照
最低血圧値がいつもより高い、または低い	カフが正しく腕に巻かれていましたか？	カフをもう一度巻きなおし、再度測定を行ってください。 ▶本書P.9・P.10・P18参照
H-Valueのバーが黄色や赤色まで点灯する ※不整脈や脈が弱い方に表示される場合があります	正しい姿勢で測定を行っていましたか？	正しい姿勢で、再度測定を行ってください。 ▶本書P.11・P.18参照

その他の現象

症状		対処法
	測定の際、カフの減圧中に最高血圧の表示箇所に数字が表示される。	この数字はカフの排気スピードを示しています。3〜6mmHg／秒の表示であれば、カフや本器に問題はありません。それ以外の場合は正常に動作していない恐れがありますので、点検修理を依頼してください。
	最高血圧と最低血圧が「0」を表示し、そのまま画面がかわらない。	（開始/終了）ボタンを押してください。

主な仕様

製品名	プレッシェル　BP200
測定方法	オシロメトリック方式
測定範囲	圧力 20～280mmHg　脈拍 40～200拍／分
断続表示間隔	圧力 1mmHg
精度	圧力 ±4mmHg　脈拍 読み取り数値の±5%
表示	最高・最低血圧値、脈拍数、H-Value、日時
メモリー	30回分の測定値を記録（最高血圧、最低血圧、脈拍数、H-Value、日時）
電池寿命	約500回、単3アルカリ乾電池使用時（常温、1日1回180mmHg加圧の場合）
電源	DC6V　単3アルカリ乾電池（LR6）×4本　AC100V（ACアダプタ）
加圧	ポンプによる自動加圧式
減圧	定降圧自動排気弁方式
排気	電磁弁による自動排気方式
安全機構	330mmHg以上で電磁弁による急速排気
電撃に対する保護	クラスⅡBF形　内部電源BF形
寸法	約D205×W190×H95mm
質量	約750g（乾電池含まず）
使用温湿度範囲	+5～+40℃、30～85%RH
輸送・保存、温湿度、気圧範囲	−20～+50℃、10～95%RH、700～1060hPa
医療機器承認番号	21700BZY00429000
型式承認	第Q0329号

株式会社タニタ

本社・東京営業所	〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2	☎03（3558）8111（代表）
大阪営業所	〒577-0013 東大阪市長田中1-3-15	☎06（6784）2811（代表）
名古屋営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-19-20	☎052（201）6391（代表）
福岡営業所	〒816-0082 福岡市博多区麦野4-2-6	☎092（575）5761（代表）
仙台営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-8	☎022（299）7161（代表）
札幌営業所	〒007-0834 札幌市東区北34条東22-1-35	☎011（786）5611（代表）

ホームページアドレス　http://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先　フリーダイヤル 0120-133821
受付時間／9：00～18：00（土・日・祝祭日は除く）
お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町 1-14-2

© 2006 TANITA Corporation. All Rights Reserved.

2006.09(SA)2007.02(3) MBM-TN1ZC-JA7

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、取扱説明書に付いておりますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2、修理を依頼されるとき

●保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡の上、保証書を添えて本器をお送りください。

●保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

無料修理規程

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡の上、商品と保証書をお送りください。
3. ご贈答品等で本保証書に必要事項が記入していない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
   イ、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   ロ、お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
   ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
   ニ、一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障及び損傷
   車輌、船舶等に搭載された場合の故障及び損傷
   ホ、保証書の提示がない場合
   へ、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
6. 保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

※ 保証書に明示した期間、条件において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

TANITA　# デジタル自動血圧計保証書

本書は、本書記載内容（無料修理規定）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送に使用させていただき、修理品とともにご返却致します。この間のお客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき責任を持って管理致します。

品　名		デジタル自動血圧計　BP-200
保証期間		本　体　　お買い上げ日より 1年
お買い上げ日		年　　月　　日
お客様	ご住所	
	お名前	様
	電話	（　　）
販売店	住所・店名	
	電話	（　　）

株式会社タニタ

〒174-8630東京都板橋区前野町1-14-2
お客様サービス相談室　フリーダイヤル 0120-133821